

# 研修会開催者様へ

## 研修会開催申請の入力方法変更のお知らせ

平成 28 年 4 月 1 日以降に開催する研修会から、  
専門医機構単位の申請にも対応した研修会申請システム  
へ変更いたします。

この変更に伴い、事前に【開催の3ヶ月前に】申請して  
いただくことを考慮し、平成 28 年 1 月初旬にシステム  
変更を実施します。

### 【変更点】

「学術集会参加」だけでなく、会期中に行われる講習等の中に「専門医機構単位として申請したい講習」が複数ある場合は、それぞれ研修会申請システムで申請することができるようになります。※裏面の申請例を参照ください。

この変更に伴い、新規申請の入力フォーム内の3点（①共通講習の種別の追加、②機構単位の入力欄の追加、③主催種別を講習主催形態へ変更）が追加・変更となります。

**新規申請**

### 種別の選択

申請の内容により以下3つの種別から選択し、申請を行う。

- 専門医共通講習 ⇒(1)共通講習種別の選択、(2)機構単位の入力(自動算出)が必要になる
- 産婦人科領域講習 ⇒(2)機構単位の入力(自動算出)が必要になる
- 学術集会参加 ⇒(3)機構単位の入力(自動算出)が必要になる

◆基本情報	種別 <input type="text" value="専門医共通講習"/>	共通講習種別 <input type="text" value="指導医講習会"/>
	開催名称 <input type="text" value="サンプル研修会"/>	
	主催者 <input type="text" value="主催 一郎"/>	
	講習主催形態 <input type="text" value="公的機関主催講習会"/>	

**(1) 共通講習種別の選択**

①共通講習の種別が追加され、種別で専門医共通講習が選択された場合、**共通講習種別の選択が必須**となります。

(例) ・医療安全講習会 ・感染対策講習会  
・医療倫理講習会 ・指導医講習会など

**③主催種別を講習主催形態へ変更**

講習の主催を含めた形態(講習主催種別)の選択が必須となります。

- 学会主催講習会 (企業共催なし) ・学会主催企業共催講習会
- 実践型講習会 (シミュレーションなど) ・e-learning など

**(2) 申請する機構単位を算出(自動算出)**

種別【専門医共通講習】もしくは【産婦人科領域講習】を選択した場合

- 専門医共通講習／産婦人科領域講習の場合、講習時間から機構単位を算出

機構単位 *	講習時間: <input type="text" value="5"/> 時間
	機構単位: 5 単位

**(3) 申請する機構単位を算出(自動算出)**

③種別【学術集会参加】を選択した場合

- 学術集会参加の場合、開催期間を選択し機構単位を算出

開催期間	<input type="text" value="2日以上集会"/>
	<input type="text" value="5時間以上1日未満集会"/>
	<input type="text" value="5時間未満集会"/>

機構単位 *	開催期間: <input type="text" value="5時間以上1日未満集会"/>
	機構単位: 2 単位

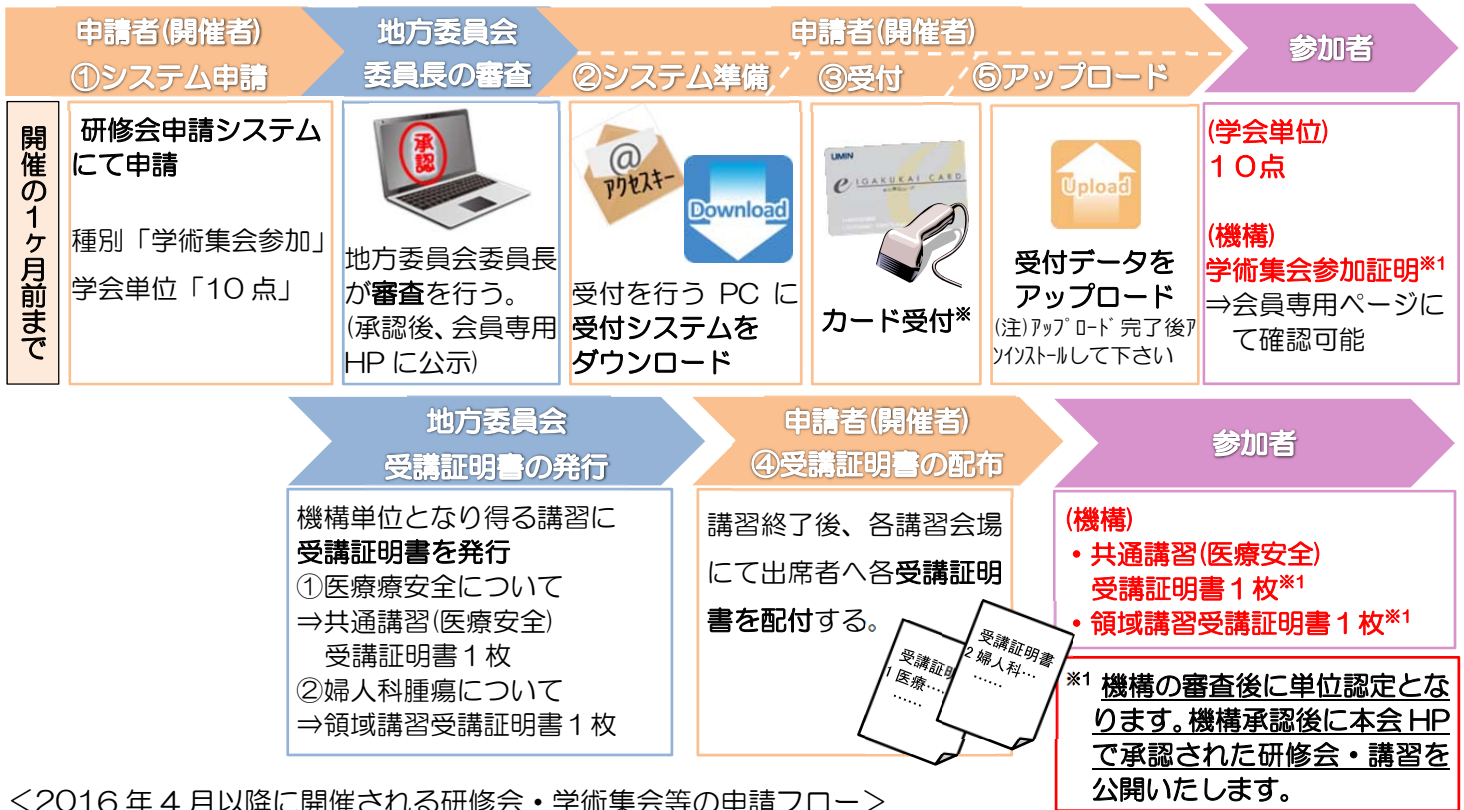
■申請例■ 以下の学術集会例における申請例

第123回●●産科婦人科学会 学術集会 会期2日(X月1日 10:00~17:00)

会期中に機構専門医単位に申請する講習が以下2つある場合:

- ① A会場 10:00~11:00 医療安全について(産科 一郎先生 C病院周産期総合医療センター)
- ② B会場 14:00~15:00 婦人科腫瘍について(東京 太郎先生 D医科大学医学部産婦人科)

<2016年3月末までに開催される研修会・学術集会等の申請フロー>



<2016年4月以降に開催される研修会・学術集会等の申請フロー>



(注)アップロード完了後パソコンインストールして下さい

学術集会等で専門医機構の単位を申請したい講習がある場合は、講習ごとに1つずつ申請してください

申請した研修会や講習ごとに、それぞれ受付システムをダウンロードし、受付や各講習会場でご利用ください。利用後は必ずアップロードを行ってください。

※2016年度は研修出席証明シールと併用ができます。